



2013～14 年度
国際ロータリー会長

Ron D. Burton

Weekly Report Niigata



2013～14 年度
新潟ロータリー会長

山本 正治



ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013～14 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 12月第 2例会 (2013.12.10) No.3021

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 山本 正治会長挨拶

本年7月に会長を仰せつかってから早いもので半年経ちました。例会を進める際の私の口癖になっていることが二つあります。それは握手タイムとニコニコボックスの報告タイムは長めにしたいことです。いつか別の日に握手の効用についてお話ししてみたいと思っておりますが、今日はニコニコボックスについて私が調べたことを報告させていただきます。

最初にニコニコボックスの始まりについてです。特に大阪ロータリークラブと東京ロータリークラブのどちらが先に始めたかについて調べてみました。大阪ロータリークラブは、以前、例会に遅刻・早退したり、ロータリーのバッジの着用を忘れたりした場合に罰金を取っていました。ペナルティボックスです。1936（昭和11）年7月、社会奉仕委員長の藤原九十郎さんがペナルティボックスの代わりにニコニコボックスを提案しました。祝いごとがあった時には“ニコニコ”として寄付をお願いしました。その2カ月後東京ロータリークラブの関幸重さんが東京ロータリーホーム（関東大震災孤児の収容施設）の孤児を慰める会の費用を捻出するために、例会で小箱を回しました。その後ニコニコボックスは日本各地に広がりました。地域によってはスマイルボックスと称しています。

世界的にみた場合はどうでしょうか。勿論アメリカですが、1905年、シカゴでの第3回例会で欠席者に50セントの罰金を課したファインボックス（罰金ボックス）が原点です。1908年にはクラブからの連絡に返信しなかった者にも罰金を課しました。また相手を愛称でなく敬称で呼んだ場合も罰金を取ったとか。しかしポール ハリスは会員のプライドを汚すので、罰金に限らず記念すべきことや祝いごとがあった場合にも適用しました。

1924年ころには例会場の四隅にボックスを置き、記念すべきことがあったらお金を入れました。このやり方が日本に伝わったと思われます。日本ではニコニコボックスとして独自の発展を遂げましたが、アメリカでは既に過去のもので、インターネットを検索しても、アメリカのロータリークラブではほとんど活用されていません。世界では、台湾が日本と同じようなシステムを取っているそうです（伝聞）。

次にニコニコする理由について調べてみました。日本でのニコニコボックスの位置づけですが、「手続要覧」には記載がありません。多分日本独特な制度として進化し、国際ロータリーまたはロータリー財団に規定がないためと思われる。『ロータリー情報マニュアル』に次の記載があります。ニコニコボックスは会員およびその家族や事業上の喜びごとや、祝いごとにもニコニコしながら寄付をし、喜びを分かち合い、また失敗したり、迷惑をかけたときもユーモアたっぷりに苦笑し例会をにぎわせ親睦を推進する。

ところで我がクラブでのニコニコボックスはどうでしょうか。私が再入会した2010（平成22）年12月以降、2年間の実績をまとめました。1位はロータリークラブで良いことが161件（45.0%）、内訳は入会祝い・ゲスト歓迎などが65件、任務完了・参加依頼などが53件、野球・ゴルフが43件です。2位は個人的に良いことが134件（37.4%）、内訳は家族の祝いごとが49件、結婚記念日が33件、趣味が33件、誕生日・還暦などが16件、表彰が3件です。3位は職場で良いことが54件（15.1%）、内訳は記念事業が35件、会社紹介が19件です。4位はその他（災害見舞い、祭り祝い、葬祭など）が9件（2.5%）でした。なお失敗や迷惑をかけたお詫びはありませんでした。合計358件（100.0%）となります。

最後に、ニコニコボックスの用途について調べてみました。「手続要覧」には、先ほど申し上げたように、ニコニコボックスに関する記載はありません。『ロータリー情報マニュアル』で、ニコニコボックスで頂いたお金は奉仕活動資金に使われると記載があります。建前としては（他人への）奉仕に使われるべきだと思いますが、本音としては（自分達のための）クラブ奉仕や親睦に使っても良いのではないのでしょうか。

今年度から始まった未来の夢計画で、私たちがロータリー財団へ寄付した浄財はますます地区内の社会奉仕・国際奉仕には使いづらくなります。ニコニコボックスと言う日本独自の良い習慣を会員相互の親睦を深めるために使っても良いのではないのでしょうか。反論される方も多いと思いますが、あえて主張させていただきます。

料理研究会発足報告

(3) 委員会報告

・桑原隆社会奉仕委員長より

①NHK 歳末助け合いのお願い

毎年恒例で皆様をお願いしております、NHK歳末助け合い募金にご協力いただきたく、これから事務局がまわりますので、よろしくごお願い致します。

②ロータリー保育園訪問の件

12月24日の例会終了後、ロータリー保育園を訪問致します。8名のお申し込みを頂いております。

(4) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)

佐野 晃之君

青少年育成基金寄付発表(柴田 史郎委員長)

樋熊 紀雄君 本間 彊君

柴田 史郎君

(5) ニコニコボックス紹介

・伴 昭彦君 先週、ガバナー賞を頂きました。

(6) 幹事報告(若槻 良宏幹事)

・NHK 歳末助け合い募金 54,748円の御協力を頂きました。山本会長から坂本局長へ託しますので、よろしくごお願い致します。

(7) 会員スピーチ

「放送開始60年 テレビ、今後の行方」

新潟放送局局長 坂本 務 君

(8) 本日の出席率 70.46 %

(2週間前メイク後 75.59 %)

12月17日の例会予定

卓話「中国では、普通のこと」

現「イエダプラス」の代表 家田 利一 氏

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rrcrcrc

去る12月11日16名の会員による新潟RC料理研究会が正式に発足しました。役員は会長 若杉武、幹事 高橋康隆、吉田和弘です。第一回料理教室は10名の参加で行はれ、鯔のかば焼きに挑戦。三枚おろしで悪戦苦闘。しかし作品を美味しく頂いて終了しました。入会随時ですので希望の方はお申し出ください。

(高橋記)



グローバル補助金奨学生
イリノイ大学大学院アーバナシャンペーン校修士課程在籍
麩沢 美裕

11月に入り、最低気温が-10℃になることも多くなりました。一度、朝起きたら一面に銀世界が広がっていた日がありました。しかし、その日以降は雨や雪もなかなか降らない乾燥した冬が続いています。私は、雪や氷が路面に無いのに外気温が零下ということにまだ慣れることができません。

大学院の方は、今学期二回目の中間試験を終えたところに Thanksgiving week という秋休みが11月の最終週にありました。イリノイ大学ではこの一週間は一切授業がありません。多くの学生は旅行にでかけたり、

特にアメリカ国内の学生は帰省したりしますが、私は普段の授業で心身共に消耗していたので、イリノイでのんびりと過ごしました。この休みのうち、シャンペーンロータリークラブの郡司さんから、郡司さんのご家族の Thanksgiving の potluck party (持ち寄りパーティー) に誘っていただきました。このパーティーでは、アメリカの Thanksgiving 恒例の七面鳥やパンプキンパイを食べ、Thanksgiving を楽しみました。また、何より郡司さんを通して、学校では出会えないようなイリノイの地方銀行の頭取の方や世界で初めてコンピューターを作った方など、新しく刺激的な出会いがあり、学業とはまた違う世界を見ることができ、とても良い経験となりました。こういった素晴らしい場を提供してくださった郡司さんに心より感謝しています。こういった機会もあり、この Thanksgiving week ではリラックスすることもでき、とても有意義に過ごすことができました。

12月を迎え、間もなく期末試験が始まろうとしています。こちらでの学業はやはりかなり大変なところが多くあり、不安も多いですが、来月も精一杯学業に励みたいと思います。以上を持ちまして、グローバル補助金の11月の報告書としたいと思います。

